

2020年6月19日

Peach Aviation 株式会社

70日ぶりに国内線の全路線で運航を再開 ～徹底した感染対策と運航の両立を目指す～

- ・ 全路線での国内線運航は70日ぶり
- ・ 引き続き、空港、機内において徹底した感染対策を実施
- ・ 社会経済活動の再開を支え、地域経済の再生をけん引



Peach Aviation 株式会社(以下: Peach、代表取締役 CEO: 森 健明)は、本日、70日ぶりに国内線全路線となる22路線での運航を再開しました。Peach は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、このうち13路線を一時的に運休していましたが、6月1日には沖縄(那覇)ー福岡線を再開し、本日、12路線の運航を再開しました。

本日、関西空港にて、運航を再開した大阪(関西)発、釧路行きのお見送りをした CEO の森は、医療従事者、就航先の自治体や関係者のみなさま、お客様へ感謝の気持ちを述べたうえで「お客様が安心して飛行機で移動できるよう、空港や機内での感染対策を徹底し、公共交通機関として社会経済活動の再開を支えるだけでなく、地域経済の再生をけん引すべく、就航先の自治体や関係者のみなさまのお力添えをいただきながら、安全運航第一で事業に取り組んでまいります」と述べています。

なお、Peach では、これからは移動を前提とした感染対策の徹底が必要となることから、お客様にはマスクの着用と体調が悪い場合の搭乗は控えていただくようお願いしております。

Peach では、7月22日に国内線全便の運航を再開^{*1}するとともに、繁忙期を迎える8月1日からは、一部の路線で増便を実施し、徹底した感染対策と航空機の運航を両立しながら地域経済の再生をけん引してまいります。

*1 機材繰りのため、MM132、MM564 は7月23日より運航します

感染対策に関する特設ページ: https://www.flypeach.com/information/jp/infection_control/

運航の再開状況に関する特設ページ: https://www.flypeach.com/information/jp/resume_flights/